

(別添様式1)

令和元年度 建設産業魅力発信（担い手確保・育成）取組実績

機関・団体等の名称	鳥取県建設業青年部交流会
-----------	--------------

事業等の名称	全県一斉「道の日」美化活動
主な対象者	一般
主な取組区分	その他
<p>1. 実施時期 2019年8月9日前後</p> <p>2. 実施場所 鳥取県内の道路関連施設</p> <p>3. 対象者（参加見込又は参加者数）約240人 鳥取県西部建設業協会青年部、鳥取県西部総合事務所米子県土整備局 40人 鳥取県中部建設業協会青年部、鳥取県中部総合事務所、各近隣自治会 200人</p> <p>4. 共催・単独等の開催状況 共催</p> <p>5. 事業等の内容 道路、駐車場及び駐車場に隣接した海岸等の清掃のごみ拾い、除草等</p> <p>6. 期待される効果（実施結果：効果） TV・新聞等に取り上げられ 広く一般の方に建設業のイメージアップを 図り、観光地や旅先の休憩所になるところを重点に実施したので、帰省者や 観光客にもきれいな鳥取県をアピールできた。</p> <p>7. 運営上の課題と課題解決に向けての検討・提案 鳥取県東部や八頭にも県土整備局伝えにて呼びかけたが準備期間が短く同趣旨、 日程に賛同が得られなかった。次回は合同にて行いたい。</p> <p>8. その他</p>	

注1：提出資料は電子データとしてください。

注2：パンフレット等製本資料がある場合は、必要部数を参加者集計の後お知らせしますので、各機関で部数を揃え、期限までに事務局へ提出してください。

合同で海岸を清掃

西部建協青年部と県

県西部建設業協会青年部と県西部総合事務所米子県土整備局はこのほど、8月の「道路ふれあい月間」・8月10日の「道の日」に合わせて美化活動に取り組んだ。

湾展望駐車場(境港市佐斐神町)に約40人が参加。米子県土整備局と協会が一緒に清掃活動を行うのはおよそ10年ぶりの事で、建設関係の仕事に携わる若手の結束を深めたという青年部からの申し出があつて実現した。はじめに青年部交流会

訪れた方々が寄る場所です。また、この近辺は島根半島や大山を望める好立地のスポットで、サイトで、サイクリングロードなど新たに生まれた道もある。鳥取県をアピールする上でも重要な場所



海岸を清掃する参加者

道の日を前に美化活動 4組に分かれ倉吉市内

約200人が参加

を強く意識して清掃してほしい」と語った。参加者は約1時間かけて駐車場周辺の草刈りや

海岸のゴミ拾い活動に取り組み、景観美化に努めた。

8月10日の道の日・8月の道路ふれあい月間をきっかけに、県民に道路の役割や重要性を知ってもらおうと、9日に倉吉市内で道路美化活動が行われた。

内の道路を清掃した。倉吉駅前では清掃活動を前に、中部建協青年部の種子善之会長が「生活に不可欠な道路を改めて考える機会にしたいと思えます」。県測協中部支部の岩山竜也支部長は「道の日をきっかけに安全できれいな町にしましょう」とあいさつした。その後、各人がゴミ袋と火ばさみを持って、たばこの吸い殻や空き缶・プラスチックごみなどを約1時間にわたって拾い集めた。



道路内のごみを拾い集めるボランティア参加者

を皆できれいにし、観光客の方々に気持ちよく過ごして頂けるようにしましょう」とあいさつ。また、米子県土整備局の三嶋誠局長が「協会と管理者が協力して行う大変意義のある活動。この輪を大きく広げて次世代につなげ、業界の結束が強くなるものとなっていく事を期待します。米子空港や境港に通じるこの道が世界につながる道である事

を強く意識して清掃してほしい」と語った。参加者は約1時間かけて駐車場周辺の草刈りや

(1) (第三種郵便物認可 昭和27年6月19日)

Canon

キャノンシステムアンドサポート株式会社

KENSETSU KOGYO SHIMBUN

建設工業新聞

2019年(令和元年)
8月20日(火)
第12022号
日刊(土・日・祝休刊)

建設工業新聞 HP
発行所 日刊建設工業新聞
米子本社

http://www.torinews.net
〒683-0047鳥取県米子市祇園町2-33-13
電話(0859)32-1771/FAX(0859)39-0421
E-mail:yonago1@torinews.net
©日刊建設工業新聞2019

(別添様式1)

令和元年度 建設産業魅力発信（担い手確保・育成）取組実績

機関・団体等の名称	鳥取県建設業青年部交流会 鳥取県中部建設業協会青年部
-----------	-------------------------------

事業等の名称	アスファルト舗装の施工体験実習
主な対象者	高校生、大学生（保護者含む）
主な取組区分	体験学習、職業体験
1. 実施時期	7月4日（火） 9:30～13:30
2. 実施場所	倉吉農業高等学校
3. 対象者（参加見込又は参加者数）	10人
4. 共催・単独等の開催状況	単独
5. 事業等の内容	校内のアスファルト舗装未整備区間および舗装損傷箇所（学校と打合せ済）の舗装工事を実際に生徒に施工してもらいます。事前に出前講座をして舗装工事についての説明をおこない、実習では舗装工事（人力施工箇所）を当方の指導のもと施工します。機械施工の箇所は当方が施工し、機械施工の説明をします。
6. 期待される効果（実施結果：効果）	実務を通して建設業に対する理解を深めることにより、建設産業への就業に対する動機付けとなることを期待する。
7. 運営上の課題と課題解決に向けての検討・提案	わかりやすく、伝えることが大事なのでかみ砕いた表現や、若者の目線の指導方法を検討する必要がある。
8. その他	

注1：提出資料は電子データとしてください。

注2：パンフレット等製本資料がある場合は、必要部数を参加者集計の後お知らせしますので、各機関で部数を揃え、期限までに事務局へ提出してください。



座談講習

舗装とは



舗装実習

ローラー転圧



舗装実習

フィニッシャー運転

(別添様式1)

令和元年度 建設産業魅力発信（担い手確保・育成）取組実績

機関・団体等の名称	鳥取県建設業青年部交流会 鳥取県西部建設業協会青年部会
-----------	--------------------------------

事業等の名称	建設機械・資材等を見てさわって体験してみよう。
主な対象者	一般
主な取組区分	体験学習、職業体験
1. 実施時期 令和元年 11 月 18 日 10:00~12:00	
2. 実施場所 米子西部学園 西部あおば幼稚園	
3. 対象者（参加見込又は参加者数） 22 人	
4. 共催・単独等の開催状況 単独	
5. 事業等の内容 ミニバックホーや高所作業車の乗車体験・敷地整地及び枯れ木伐根作業の見学	
6. 期待される効果（実施結果：効果） 日頃、道路・河川・建築工事等に使用される機械に実際に乗車し、楽しさや凄さを感じ、建設業に興味・関心・親近感を持ってもらう。	
7. 運営上の課題と課題解決に向けての検討・提案 安全面に配慮をしていますが、特にする必要あり、対象が若いので継続的な広報をして建設業界の存在をアピールしていく必要あり	
8. その他 日本海新聞・中海テレビ・工業新聞の取材有り	

注1：提出資料は電子データとしてください。

注2：パンフレット等製本資料がある場合は、必要部数を参加者集計の後お知らせしますので、各機関で部数を揃え、期限までに事務局へ提出してください。

園児たちが乗車体験 建機に触れ楽しむ

西部建協青年部

県西部建設業協会青年部
(池本学会長、会員22



楽しんで乗車体験する園児

人は18日、建設業魅力発信事業として米子市二本木、西部あおば幼稚園で高所作業車やバックホウの乗車体験を行った。日頃、身近な場所で行われている道路や河川の工事を目にする建設機械に

実際に乗車して、建設業界に興味、関心を持ってもらおう、と今年で5回目になる。高所作業車、ミニバックホウを2台ずつ原商、リョーキの協力で用意。高所作業車には一度に約10人ずつ乗り8

桁の高さまで昇った園児たちは普段触れることのない建機に興味津々、楽しそうに友達や先生に手を振っていた。また、ミニバックホウの乗車体験では園児を有資格者の膝の上に乗せ、運転感覚を体験した。池本会長は「建設業の魅力を発信して、将来10年後、20年後の園児たちが一人でも多く建設業の職についてくれたら嬉しい」と人材確保に向けて語った。